

2020年度  
第3回 理事会議事録

2020年 11月 19日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

# 2020年度 第3回理事会議事録

1. 日 時 2020年 11月 19日 (木) 13:55～15:30
2. 場 所 本議場= 全国鐵構工業協会 第1会議室  
(本議場に参加しない者はオンラインにて参加)
3. 構 成 員 16名
4. 出席構成員 15名 (別紙 出席者名簿参照)
5. 議 事 次 第
  - (1) 開会の辞
  - (2) 定足数確認報告 (定款第36条)
  - (3) 会長挨拶
  - (4) 前回理事会議事録の確認
  - (5) 報告事項
    - 1) 原価管理実施実態調査結果報告及び今後の対応について
    - 2) 求人用業界PRポスター作成について
    - 3) 新年賀詞交歓会等の中止について
    - 4) 委員会報告
      - ①品質管理委員会
      - ②IoT等システム環境整備検討委員会
      - ③事業継続計画検討委員会
    - 5) 新規ワーキンググループ(WG)の設置について
  - (6) その他の定例報告事項
    - 1) 構成員登録状況
    - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
    - 3) 主要会議日程
    - 4) 支部報告
  - (7) 閉会の辞

## 6. 議事要旨

### (1) 開会の辞

進行役の辰巳専務理事より開会する旨が告げられた。

### (2) 定足数確認報告

辰巳専務理事より、理事総数 16 名のうち議場への出席者 7 名、オンラインでの出席者 8 名で出席者合計 15 名、欠席者は神崎理事 1 名であり、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされている旨、報告された。

### (3) 会長挨拶

米森会長より「本日の理事会は、皆様に東京に集まっていただき対面で実開催する予定にしておりましたが、新型コロナウイルスの新規感染者数が急増している事態に鑑みて、急遽オンラインでの開催に変更させていただきました。お会いできることを楽しみにしておりましたのに、誠に残念ですが、本日はこの形でもよろしくお祈いします。」との挨拶があった。

### (4) 前回理事会議事録の確認

辰巳専務理事が要点を読み上げ、確認、了承された。

### (5) 報告事項

#### 1) 原価管理実施実態調査結果報告及び今後の対応について

10 月中・下旬に実施した「構成員企業の原価管理実施実態調査」の集計結果について、議案書[理 20-3-報 1]〈p3-5〉にそって平井総務部長より報告された。

報告の要点は以下のとおり。

- ・調査対象社数 2,218 社のうち回答があったのは 1,105 社(回答率 49.8%)。
- ・「原価を把握していない」との回答は 102 社(回答社数の約 10%)。把握していない社数は M グレード以上では少数であるが、R、J、未認定は約 20%。
- ・地域的な偏りはみられず、各県に数社ずつ分散している。
- ・原価を把握していない理由の約 60%が「原価管理の方法が分からない」状態で、また、70%は「原価計算の方法が分かれば実施する」意思がある。

引き続き、11 月 12 日に開催された運営委員会において、上記の結果をふまえて検討した今後の施策案について、基本方針、具体的施策、スケジュールが議案書[理 20-3-報 1]〈p6〉にそって平井総務部長より説明された。

本案に対する意見質問等はなく、本案具体的施策を早急に実施するよう各県組合に対して依頼することとした。

#### 2) 求人用業界 PR ポスター作成について

ハローワークの求人募集の職業分類の基礎となっている「厚生労働省職業分類」には、建設躯体工事の職業として鉄骨関連(鉄骨工・溶接工)の分類項目がないことをふまえ九州支部より提出された改善要望に対応し、辰巳専務理事が厚

生労働省担当官に改善の可能性を問い合わせたところ、短期間での改善は期待できない旨の回答があったことが、議案書[理 20-3-報 2]〈p7-9〉にそって辰巳専務理事より説明された。

上記のことをふまえ、当業界のPRのため、全国のハローワーク、工業高校等に配布・貼付する業界PRポスターを作成する案が、議案書[理 20-3-報 2]〈p10〉により提案された。

本案に対する意見・質問等はなく、作成のためのワーキンググループを設置することとした。

### 3) 新年賀詞交歓会等の中止について

2021年1月15日に予定されていた賀詞交歓会、全国理事長会は新型コロナウイルス感染予防のため中止し、三役会、理事会及び理事会メンバーでの会食のみ実施する案が議案書[理 20-3-他 3]〈p24〉により辰巳専務理事から説明され、了承された。

## 4) 委員会報告

### ①品質管理委員会

2019年度に(旧)品質管理委員会が検討を進めていたが、コロナ禍の影響で中断していた「ホームページでの工場詳細情報公開」に関し、情報公開に関する構成員の希望有無の事前調査、ホームページ画面のイメージについて議案書[理 20-3-報 4②]〈p11-13〉により山本副会長より説明された。

これらの実施については、今後設置されるWGにおいて、ホームページの全体改造の中で検討する旨、米森会長より補足説明された。

### ②IoT等システム環境整備検討委員会

同委員会が整理した「デジタル技術導入候補項目」の優先順について三役による事前評価を行い、その結果をベースに11月11日に開催された三役会で協議した結果、「日報のデジタル化」及び「リモート会議(製品検査)」の2件を最優先テーマとすること、また、「バーコード・QRコードによる製品管理」を次の取組テーマとすることが合意されたことが、議案書[理 20-3-報 4③]〈p15-16〉により大島副会長より説明され、この2テーマを優先取組事項とすることが了承された。

### ③事業継続計画検討委員会

同委員会で検討した結果、今後検討を進めるべきテーマとして、「災害時における事業継続計画(BCP)に関する検討」、「事業継承(後継者対応)に関する検討」の2項目を選定したこと、及び各々の概略内容について、議案書[理 20-3-報 4④]〈別途配布〉により永井副会長より説明され、この2テーマを検討項目とすることが了承された。

## 5) 新規ワーキンググループ(WG)の設置について

上記の特別委員会からの報告をふまえ、検討項目として選定されたテーマに関して具体的な取組みを行うために新規に設置するWGについて、米森会長より以下のとおり説明された。

- ・次の五つのWGを設置する。
  - i)災害時のBCP策定WG
  - ii)事業継承対策WG
  - iii)日報デジタル化検討WG
  - iv)リモート製品検査検討WG
  - v)ホームページ改造WG
- ・リーダー及びメンバーは次のとおりとする。
  - i)「災害時のBCP策定WG」のリーダーは大竹理事にお願いする。メンバーは、運営委員から3名選任する。
  - ii)「事業継承対策WG」のリーダーは出雲理事にお願いする。メンバーは、運営委員から3名選任する。
  - iii)「日報デジタル化検討WG」のリーダーは井原理事にお願いする。メンバーは、技術委員から2名選任する。
  - iv)「リモート製品検査検討WG」のリーダーは佐藤理事にお願いする。メンバーは、技術委員から2名選任し、さらに他団体から数名参加していただくこととし、具体的な人選は後刻三役と事務局で相談する。
  - v)「ホームページ改造WG」のリーダーは渡辺理事にお願いする。メンバーは、運営委員、技術委員から各々1名選任し、さらに青年部から2名参加してもらうこととし、具体的人選は執行部で行う。
- ・また、構成員企業の求人活動に資する業界PRポスターを作成するため「採用ポスター作成WG」を設置することとし、リーダーは寺田理事にお願いする。メンバーは、運営委員から1名と青年部から1名選任する。
- ・運営、技術各委員からの選任に際しては、各々の委員長及び事務局と十分に相談して決めていただきたい。

## (6) その他の定例報告事項

### 1) 構成員登録状況

2020年11月11日時点の構成員数は2,215社で、前回報告時より1社増加したこと等が、議案書[理20-3-他1](p18-22)により事務局から報告された。

### 2) 着工面積と推計鉄骨需要量

2020年9月の鉄骨推計需要は34.9万トン(前年同月比1.8%減)であることが、議案書[理20-3-他2](p23)により事務局から報告された。

### 3) 主要会議日程

今後の主要会議等について、議案書[理20-3-他3](p24)により確認された。

### 4) 支部報告

#### 〔北海道〕

- ・各地区とも諸活動はほとんど行っていないが、11月1～2日に製作管理技術者受験対策講習会を開催した。

- ・手持工事量は、Hグレードファブは2～9か月、Mは1～5か月、R・Jは1～3か月程度であるが、ファブにより大きなバラツキがある。
- ・稼働率は90～100%を維持しているが、年明け以降低下することが懸念されている。
- ・見積物件数は少ない。
- ・価格は維持されているが、下落しているとの話がいろいろな場に出ており、このような噂話が引き金となって現実に価格下落に陥ることを懸念している。

#### 〔東北〕

- ・11月6日に「見積条件書」「工程管理表」「仮設金物原価算出シート」の講師養成講習を開催し各県より1名参加した。
- ・10月29日に東北支部会を開催し、各県・各社で実施している新型コロナウイルス感染防止策が報告された。
- ・見積物件数は少ない。
- ・手持工事量は、Hグレードファブは手すきになる時期はあるが来年の夏ごろまでの目処が立っている。M以下は3～4か月。
- ・価格は、地場物件は維持されているが、関東物件については一部のゼネコンから厳しい指値が出ているとの話がある。

#### 〔関東〕

- ・10月15日に支部会と全構協三役との意見交換会を開催した。通常、東京で開催しているが感染予防のため高崎で開催した。
- ・10月30-31日に開催した超音波検査技術者の講習会も、通常、埼玉で開催しているが、今回は密を避けることができる高崎市内の大型コンベンションセンターを利用した。
- ・首都圏の再開発関連物件は出ているが、地場の中小物件が少なく、手持工事量のバラツキがファブにより大きくなっている。
- ・価格は下げ基調ではあるが、維持に努めるよう啓発している。

#### 〔北陸〕

- ・10月9日にハイグレード会を開催した。
- ・10月19日に支部会と全構協三役との意見交換会を開催した。
- ・石川県組合では、11月26日に現場見学会を開催する予定である。
- ・手持工事量は、Hは、途中手すきになる時期はあるが、概ね半年～1年の仕事を確保している。稼働率は月により高低バラツキがある。
- ・Mは、地場の中小物件が減っているため、足元の仕事はあるが年明け以降の状況悪化が懸念される。価格は、ゼネコンからの指値が厳しくなっており、これまで噂程度であった安値受注が現実のものになりつつある。
- ・R、Jはさらに厳しく、本来降雪期前の需要期であるが、足元の仕事もかなり少なくなっている。
- ・設計会社からも、先々の不透明感、特に中小物件の減少の懸念する声が聞こえる。

#### [中部]

- ・10月29-30日に、製作管理技術者の勉強会を開催した。
- ・10月5日に支部会と全構協三役との意見交換会を開催し、溶接ヒューム規制問題、商社問題等について意見交換した。
- ・仕事量は、Hについてはファブによりバラツキはありものの概ね半年分程度を確保している。M以下については足元の仕事が無くなりファブ間の相互支援で凌いでいる者もいる。
- ・稼働率は100%を維持している者がいる一方で50%を割っている者もいる。
- ・見積物件数も少なく不安視する者も多い。
- ・価格は下げ基調であるが、ファブ間の情報交換を密にして維持に努めている。

#### [近畿]

- ・10月に製作管理技術者の講習会を開催した。
- ・11月5日に全構協三役との意見交換会を開催した。
- ・手持工事量は、Hは10か月、Mは4～5か月、R、Jは3～4か月程度である。
- ・稼働率は、60、70～100%。
- ・価格は、他支部に比べ安いとの話も聞かれるが、「近畿はひとつ」の思いで維持に努めている。一部の商社扱い物件で安値受注の話も出ているが確たる情報ではない。

#### [中国]

- ・10月6日に全構協三役との意見交換会を開催した。
- ・11月25日に役員会を開催予定で、リモート開催する準備を行っている。
- ・手持工事量は、Hは8～10か月であるが、途中で手すきの月ある。Mは3～4か月でバラツキが大きい。R・Jは2～3か月で仕事が尽きそうなファブもある。
- ・稼働率は30～120%でバラツキが大きく、ファブ間のやり繰りで谷を埋めている。
- ・価格は、かろうじて維持している。

#### [四国]

- ・9月24～25日に製作管理技術者講習会を、10月28～29日に製品検査技術者の学科試験講習会を開催した。
- ・10月20日に支部会と全構協三役との意見交換会を開催した。
- ・コロナウィルス対策は上手くいっており、4県とも感染者数は少数にとどまっている。
- ・仕事量は極端に少なくなっている。特に地場物件が少なく、大阪、名古屋、首都圏等の物件をあてにしたいところであるが、価格が非常に厳しく、なかなか手を出せずにいる。
- ・手持仕事量は、グレードを問わず1～3か月まで減っており、ファブ間のやり繰りで何とか凌いでいる。

#### [九国]（神崎理事が欠席のため、代わりに永井副会長より報告された）

- ・事務局会議を毎月開催しているが、現在はオンライン化している。

- ・大型物件は発注されているが、中小物件が少ない。
- ・先延ばしになっていた物件の一部に動きが見られるようになった感がある。
- ・価格については、組合加盟していないアウトサイダーが安値受注をしているとの情報がある。
- ・来年夏ごろまでの発注は低位で推移しそうだが、その後は回復するとの期待感を持っている。

#### (7) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項、その他の定例報告事項等、予定された全ての事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

## 出席者名簿

<u>役 職</u>	<u>氏 名</u>	<u>出席形態</u>
会 長	米 森 昭 夫	議 場
副 会 長	永 井 毅	議 場
〃	大 島 嗣 雄	議 場
〃	山 本 泰 徳	議 場
専務理事	辰 巳 功	議 場
常務理事	大 橋 利 勝	議 場
理 事	佐 藤 正 記	オンライン
〃	渡 辺 勝	オンライン
〃	大 竹 良 明	オンライン
〃	寺 田 健 信	オンライン
〃	多和田 桂 太郎	オンライン
〃	出 雲 津 芳	オンライン
〃	福 田 秀 章	オンライン
〃	井 原 常 裕	オンライン
〃	齊 藤 眞	議 場
監 事	村 上 眞 樹	議 場
〃	野 田 博 文	オンライン
〃	高 橋 伸 和	オンライン

理事総数 16名 うち出席者 15名 [欠席： 神崎 隆一]  
監事総数 3名 うち出席者 3名